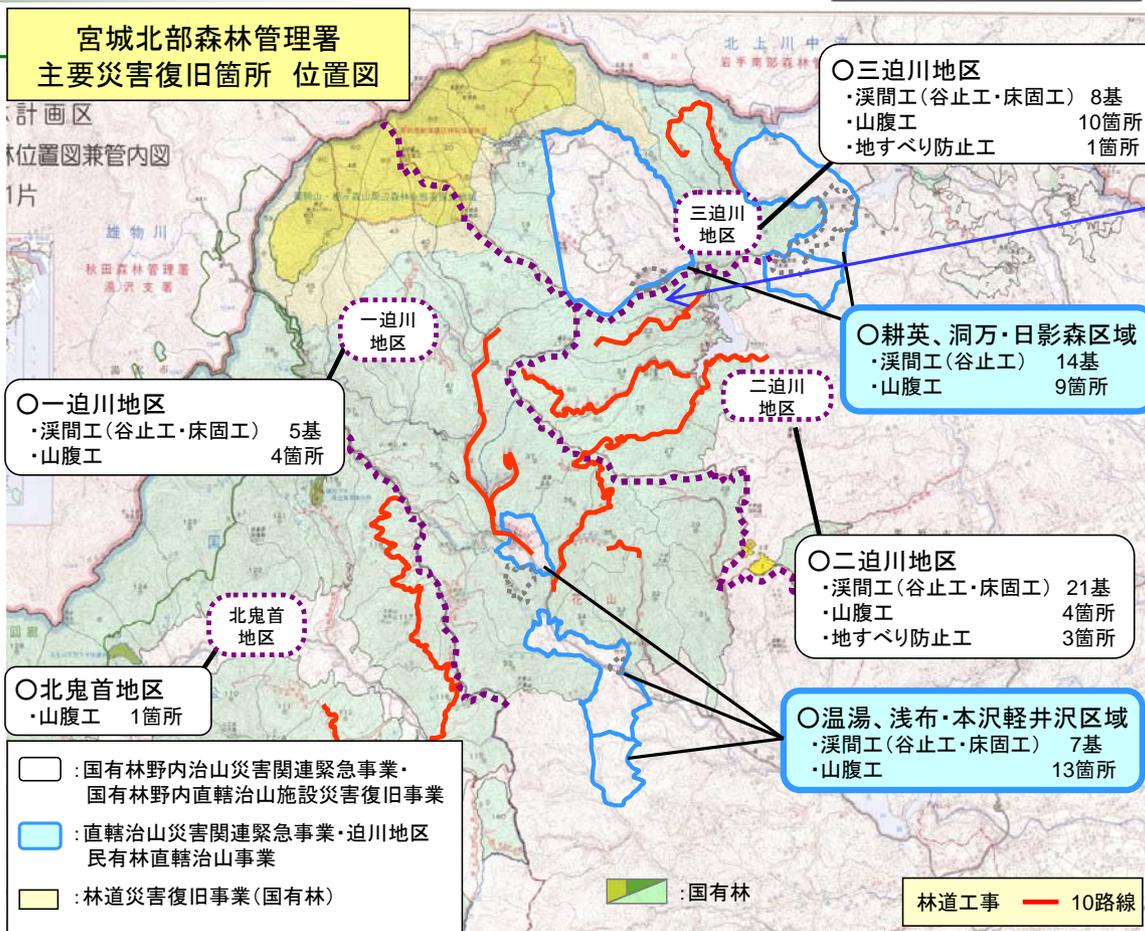
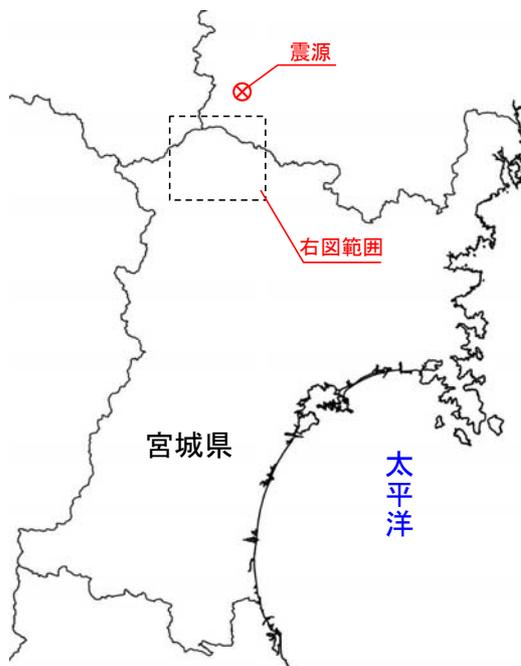


荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。東北森林管理局ホームページのトップページ左にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」のバナーをクリックすると見ることができます。
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



■ 概要

平成20年岩手・宮城内陸地震による被災箇所のうち、平成22年度末までに国有林治山事業で溪間工34基、山腹工19箇所、地すべり対策工4箇所、民有林直轄治山事業で溪間工21基、山腹工22箇所、林道災害復旧事業で10路線を整備しました。平成23年度は、前年度からの継続箇所を含め、国有林治山事業で10件、民有林治山事業で15件の工事を行います。（平成22年度末完了予定であった工事の一部は、東北地方太平洋沖地震のため工期を延長しています。）

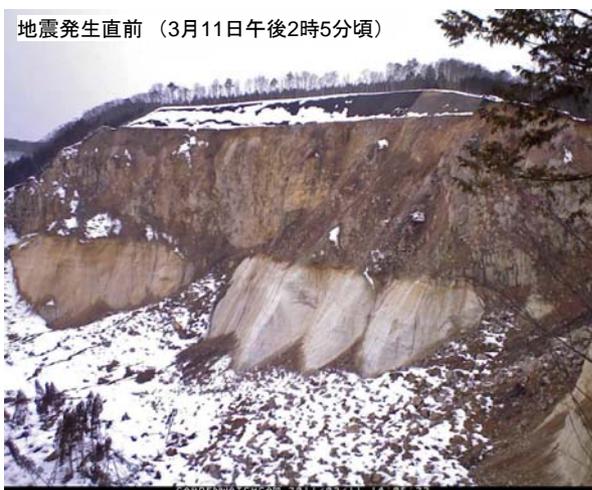


○東北地方太平洋沖地震による影響

平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震やその余震によって、岩手・宮城内陸地震による崩壊地や治山事業施工地に落石、亀裂など発生していますが、人命・人家等へ直ちに危険を及ぼす箇所は確認されていません。



二迫川地区 荒砥沢地すべりでは、地震により、滑落崖の一部が崩落しましたが、地すべり地周辺は無人であったため、人命等の被害はありませんでした。



地震発生（3月11日午後2時46分頃）

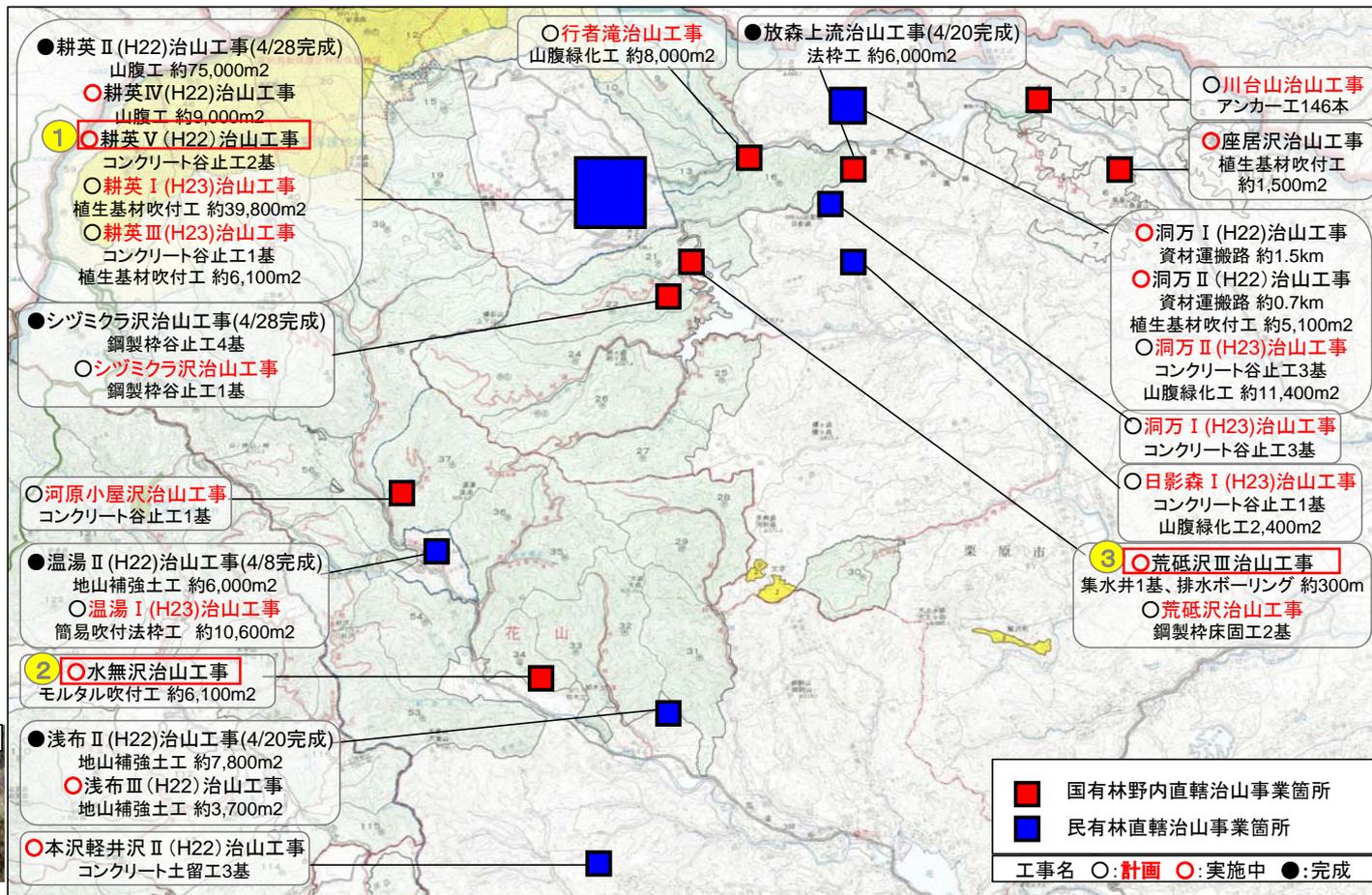
平成23年度 工事予定箇所

① 耕英 [溪間工(コンクリート谷止工)]

大規模な崩壊地からの土砂流出が懸念されているため、下流にコンクリート谷止工をつくります。



上流部の荒廃状況



② 水無沢 [山腹工(モルタル吹付工)]

荒廃した山の斜面の拡大や土砂流出を防ぐため、特殊モルタル吹付工を行います。



山腹工施工箇所

③ 荒砥沢 地すべり防止工(集水井、排水ボーリング)

地震による地すべりによってできた湛水池の水位の上昇を防ぐために、排水ボーリングを行います。



排水ボーリング工
集水井 湛水池

荒砥沢ダム